



学校だより

強く 正しく 美しく

児童数 580 名

No.10

令和8年6月29日 文責 校長 林 寛

雨の日の学び

梅雨らしい天気が続くようになりました。昨今の自然災害などのニュースを見ると、雨の日はどうしてもネガティブになりがちですが、いつもと違う雨の日の登下校や過ごし方から子供たちが学べることはたくさんあると思います。例えば右のようなものです。

これらは、「生活の知恵」というものになると思いますが、子供たちが実際に雨の中を歩くことで気がついたり、身につけたりして

いく大切な「学び」だと思えます。学校でも雨の日の登下校については、しっかりと指導しますが、住んでいる地区の様子によって、気を付けるべきことが若干異なってきます。次の日の天気を家庭の話題にして、雨の日に気をつけることを一緒に考え、各家庭で「生活の知恵」を授けてもらえると、子供たちのこれからの健やかな成長につながっていくと思います。

- 両手でカサを持てるようにする（荷物の精選）
- 風向きに合わせてカサをさす
- カサがぶつからない様にいつもより間をあけて歩く
- 雨が強い日は長靴やレインコートで登校する
- 風が強い日は、帽子をランドセルに入れて行く
- 視界が悪くなる分、耳で音をよく聞く
- 雨の日は、替えの靴下やタオルと濡れた物を入れるビニール袋を持っていく
- 川の水が増えていたら、川や用水路から離れて歩く
- 雷鳴が聞こえたら、近くの建物に逃げる など



強い雨の予報が出た先週は、正門前のロータリーへの送りOKというメールを出しました。。時間等のルールを多くの方に守っていただいています。ただ、停車位置ではない場所や車の右のドアから子供が降りていて、ヒヤとする場面を数件見ました。忙しい時間ですが周囲への配慮を持ちながら安全にロータリーを利用してください。

「ようこそ先輩」宮崎 慎 選手



育館のフロアで子供たちや先生たちとミニゲームをしてくれたり、教室に行って多くの子供たちにサインをしてくださいました。8月から始まる新シーズンのためにすでに香川県に戻られているようです。背番号6の宮崎先輩の活躍をみんなで応援したいと思います。

ワールドカップでの日本代表の奮闘が話題になっていますが、上峰小の卒業生でJ3カマタマレ讃岐に所属している宮崎 慎(みやざき しん)選手が6月19日(金)にオフの時間を利用して、5年生の子供たちとの交流をしてくれました。小学校のころの様子、上峰町を出た中学校以降のくらし、プロサッカー選手になるという夢をあきらめずに持ち続けたこと、そして周囲の人への感謝の気持ちなどを5年生に話してくれました(100人を超える子供たちに話をするのは初めてだったそうです)。

話のあとは子供たちからの質問に答え、体



メールなどでもお知らせしていますが、強い風雨、雷等の荒天時で、子供たちの安全が心配される場合は、安全を最優先し自宅で待機して構いません。学校に「遅れます」という連絡を頂ければ助かります。このような場合は、これまで通り遅刻扱いにはなりません(登校班の中で連絡を取り合っていたとより安心できます)。

上峰小学校

HP

